

まちの ニュース



田山小学校の2～4年生による合唱の発表

みんなで楽しく音楽の発表をしよう！

平成19年度八幡平市小学校音楽発表会は10月18日、市総合運動公園体育館で開催されました。

開会式で、高橋北英教育長が「練習の成果を堂々と発表し合って、お互いに勉強しましょう」と祝辞を述べました。続いて市内12校から参加した約590人の児童全員で「きょうりゅうとチャチャチャ」を合唱して、いよいよ発表会の開始です。

各学校がそれぞれ合唱や合奏などを2曲ずつ発表。柏台小は和太鼓、寄木小は鼓笛隊演奏、安代小は体をたたいてリズムを取るボディーパーカッションなどを披露しました。会場では、応援に駆けつけた100人以上の父母などから、大きな拍手が送られました。

閉会式で西根第一中の佐々木裕校長は「いろいろな種類の音楽を楽しく聞かせてもらいました。市内の中学校は合唱や吹奏楽など音楽活動が盛んですので、これからも音楽を頑張ってください」と講評しました。



勇壮な八幡平太鼓を披露する柏台小学校の児童

秋の彩りを楽しみながらウォーキング

鮮やかな紅葉を楽しみながら八幡平の自然を堪能してもらおうと、2007八幡平紅葉ウォーキングは10月20、21の両日、八幡平周辺で行われました。

初日は松川温泉を発着点にした約4kmの松川大橋コース、2日目はフォレストIを発着点にした約4kmの七滝観賞コースがそれぞれ行われ、2日間で延べ260人が参加しました。

各コースには、八幡平自然散策ガイドの会の会員が同行し、動植物の説明や見所などを紹介し、参加者を楽しませました。

期間中は、フォレストI周辺で2007八幡平紅葉まつりも開催。民謡歌謡ショーや木工体験、フリーマーケットなどが人気を集め、大勢の観光客でにぎわいました。



- ↑美しく色づいた紅葉などを楽しみながら七滝を目指す参加者
- ←八幡平自然散策ガイドの会の会員から動植物などの説明を聞きました

地球環境を大切に合併記念の植樹

八幡平市合併記念植樹祭は10月20日、いこいの村岩手に隣接する三ツ森スキー場跡地「ふれあいの森」で開催されました。

市の関係者や松尾自然愛護少年団の中学生、渋川、細野森林愛護少年団の小学生など90人が参加。ブナやミズナラなど約360本の木を植樹しました。児童の代表と田村正彦市長は、豊かな森が育つようお願いを込めて記念の標柱を建て、植樹を祝いました。



植樹をする渋川森林愛護少年団の児童

縄文の炎が土器に吹き込む太古の息吹



窯出しをしながら、縄文土器の成り立ちなどを学習

安代地区の少年少女教室「チャレンジしよう縄文土器作り」は10月13日、旧浅沢小学校校庭で行われました。

この日は、7月の講座で作成し、約3カ月かけて乾燥させた土器を地面に掘った穴の中で、数時間かけて焼き上げました。灰の中から土器を取り出す窯出しの瞬間は、緊張が走ります。ひび割れもなく、きれいな土器が取り出されると、子どもたちは歓声をあげて喜んでいました。

ボランティア活動に興味のある人たちに情報交換や交流を深めてもらおうと、第1回

八幡平市ボランティアの集いは9月26日、市総合福祉センターで、約100人が参加して開催されました。

市内の団体によるボランティアの事例発表や、IBCアナウンス学院副学長の前田正二さんの講演会などを行いました。参加者は今後の活動に向け、意欲を高めていました。

ボランティアが交流を深める集い開催



今後の参考にしようと、事例発表に聞き入りました

強豪が綱を引き合い熱戦を繰り広げる



呼吸を合わせて綱を引く、平笠綱遊会の皆さん

2007八幡平CUP綱引き大会(同実行委員会主催)は10月7日、市総合運動公園体育館で開かれました。

全日本選手権で優勝経験のある強豪チームなど、全国から18チームが出場し、熱戦を繰り広げました。市からは平笠地区の綱引き愛好者でつくる平笠綱遊会が出場。全国トップレベルのチームを相手に善戦しました。

参加者は、心地よい汗を流し、健闘をたたえ合いました。

安心で安全なまちを目指して啓発活動

「みんなであつこう安心の街」を統一標語に、秋の全国地域安全運動は10月11日から20日までの期間に実施されました。

期間中の12日には、安代地区で市防犯協会の会員などが出動し、車両4台で防犯パレードを実施。安代総合支所前を出発し、安心、安全なまちづくりへの協力を呼び掛けました。16日にはマックスバリュ西根店前で、買い物客などへ啓発活動を行いました。



安代総合支所前から防犯パレードに出発しました

県民の森でアルパの音色に酔いしれる



アルパの演奏を心行くまで堪能しました

岩手県民の森フォレストアイで10月14日、八幡平市在住のアルパ奏者・ひらやまよりこさんとアルパ同好会の皆さんを招き、県民の森アフタヌーンコンサートが開催されました。

南米パラグアイ共和国の民族楽器アルパで「コンドルは飛んでゆく」や「荒城の月」などの演奏を披露。最後は参加者全員で「紅葉」を合唱し、自然豊かな県民の森でのコンサートを楽しみました。

黄色いレシートが市民の善意を届ける

イオン株式会社マックスバリュ西根店は9月25日、市内の小学校に合計5万4500円分の図書カードを寄贈しました。これは、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンの一環で、投かんされた黄色いレシートの1割に相当する額を贈るものです。高橋北英教育長は「皆さんの善意を大切にに使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。



図書カードを受け取る高橋教育長(写真左から2番目)



園児との遊びなどを通じて、多くのことを学びました

就労体験を通じて高校生が社会勉強を

働くことの意義を学び、進路意識の向上に役立てようと、県立盛岡工業高校に通う市内の生徒6人は、10月2から4の3日間、保育所と図書館で就労体験を行いました。保育所と図書館に3人1組で分かれ、子どもたちと外遊びをしたり、図書整理などを行いました。生徒たちは「自分たちに足りないものを学びました。今後の進路に役立てます」と意欲を高めていました。

収穫祭で食と農の楽しさ大切さを体験

市農業委員会は10月22日、本年度の食農教育事業の締めくくりとして、市総合福祉センターで収穫祭を開催しました。

西根地区の園児が、自分たちで苗を植え、収穫した力ボチャやトウモロコシを使い、

料理作りに挑戦。材料をみんなで協力しながら混ぜ合わせ、力ボチャ入りのひつまみを作りました。

このほか、ポップコーンやカボチャのサラダも作られ、試食した園児たちは「おいしい」を連発して大喜びでした。



↑やり方を教わりながら、ひつまみ作りに挑戦する園児

←完成したひつまみやサラダはとてもおいしく、何度もおかわりをする園児もいました



安代小学校(高橋ひさ子校長、児童180人)は10月4日、芸術文化教育パートナー授業の第1回として、花咲く安代コンサートを開催しました。

教育パートナーは、父母など地域住民と協力して授業を行う同校独自の取り組み。14年に導入した算数教育パートナーでは、授業の習熟度や意欲が高まるなどの効果が上がっています。

今回のコンサートは、芸術文化パートナーに登録した馬場リチ子さん(清水)の協力で、親交のあるテノール声楽家の



教育パートナーのはからいで、合唱指導が行われました

及川尚志さん、ピアニストの小笠原史さんを招いて開催。及川さんは「サンタ・ルチア」や「荒城の月」など5曲を披露。コンサート終了後には、教育パートナー授業ならではの声楽家による合唱指導も行われました。

同校では、算数、芸術文化に続いて、国体選手や競技関係者が多い地域性を生かし、今冬のスキー授業に向け教育パートナーの登録を呼び掛ける予定です。

高橋校長は「地域との信頼関係を大切に築き、協力していきたい」と意欲を高めています。



声楽家の迫力ある生演奏に児童は感動

地域との信頼が花咲く教育パートナー